

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルブーク放課後等デイサービス たんぼほハウス		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の環境整備や支援体制について、安心して利用できる環境が整っている状況がうかがえます。	利用者さん一人ひとりの特性に応じた関わりを大切に、落ち着いた過ごせる環境づくりを継続しています。	職員間での情報共有や支援方法の統一を図りながら、より質の高い支援の提供に努めていきます。
2	職員の関わりや対応については、概ね良好な状況が見られ、利用者に寄り添った支援が日々の関わりの中で行っています。	日々の様子を丁寧に把握し、利用者さんの気持ちに寄り添いながら安心できる関係づくりを行っています。	職員研修やケース会議を通して利用者理解を深め、支援の質の向上を継続していきます。
3	保護者のみなさんから一定の信頼を得ていることがうかがえます。	保護者との連絡や情報共有を大切に、安心して利用していただける関係づくりに努めています。	情報発信の内容や方法を工夫し、より分かりやすく伝わる取り組みを行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の項目において「どちらともいえない」との回答が見られ、支援内容の伝わり方にばらつきがある可能性があります。	支援の意図や活動の目的が十分に共有されていない場面があることが考えられます。	日々の支援内容や目的について、連絡帳や面談等を通じて丁寧に説明し、理解を深めていただけるよう取り込んでまいります。
2	活動内容や取り組みの見通しについて、保護者によって受け取り方に差があると考えられます。	活動の意図やねらいが十分に可視化されていないことが要因として考えられる。	活動計画やねらいを分かりやすく伝える工夫を行い、保護者が理解しやすい情報発信を強化してまいります。
3	活動内容や支援の取り組みについて、より分かりやすく伝える工夫が求められる部分があるようです。	日々の支援は実施できているものの、その内容や意図について十分に発信できていない場面があると考えられます。	活動のねらいや支援の意図について、連絡帳やお知らせ等を通じて具体的に伝える機会を増やし、保護者にとって分かりやすい情報発信の充実を図ってまいります。